



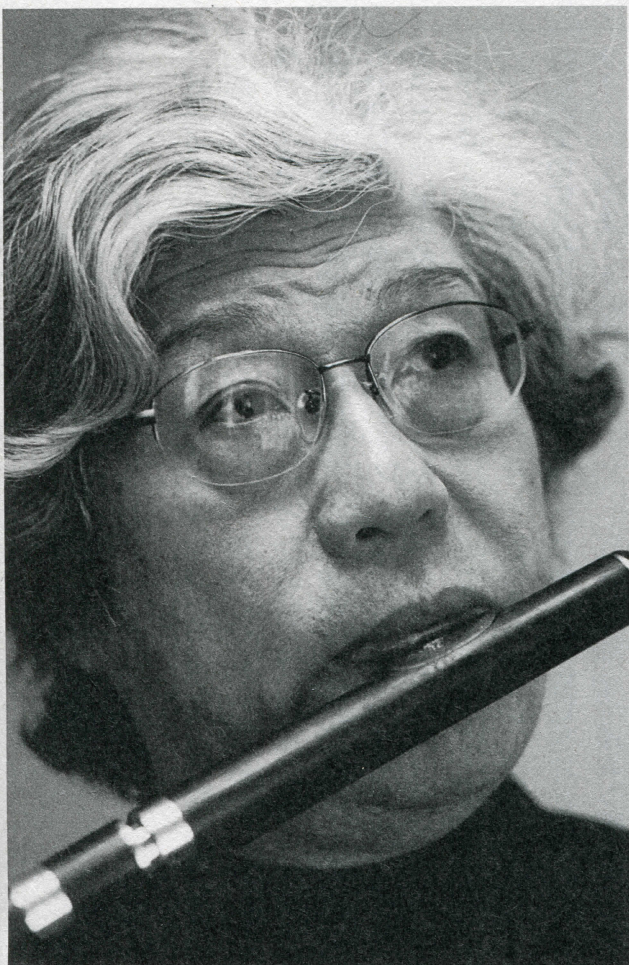
# 地域と文化

フルーティスト

佐々木真



1942（昭和17）年東京蒲田に生まれる。京都大学在学中、1963年日本音楽コンクール入選。1967年京都大学理学部大学院物理学修士、同年東京交響楽団に入団。1996年4月フランス「ポアチエの春」音楽祭に招かれ、故イェルク・デームス氏とのデュオ・コンサート。首席奏者を経て2002年東京交響楽団を定年退団、同年より毎年12月、東京銀座・王子ホールにてリサイタル開催の他、各分野における我が国を代表する方々の講演とフルート音楽がコラボレートする「レクチャー&コンサート」をはじめ各地においてソロや室内楽のコンサートを主宰している。現在、一般社団法人日本フルート協会会長、公益社団法人日本演奏連盟理事。



現在私が住んでいる埼玉県南部の新座（にいざ）市（面積22・78平方km、人口約16万6千人）には、52年前東京都杉並区での居候生活の一年間を経て新座町であった頃に転居して来ました。後に新座市に昇格（？）しましたが、一貫して自慢できるものといえば中央部に在る「平林寺」という臨済宗妙心寺派の禅寺で修業道場です。修業に差し障りがない範囲で参拝や境内散策が許されており、広い境内の武蔵野の雑木林にたたずむと、それが「心があらわれる」ということだと感じることが出来ほつといたします。

「新座」という名称の由来は新座市のホームページによりますと、「天

平宝字2年（758）武蔵国に新羅郡が設置されたことに由来します。そのころの新座の周辺は、律令政治により、先進文化をもつ新羅国（朝鮮半島）の人々の政治的移動が行われていました。その後「新羅郡」は「新座郡」に改称されました。その後、昭和30年（1955年）の町村合併促進法により古い地名の新座郡（にいくらごおり）から名をとり、新座町（にいざまち）となりました。《ということです。20年ぐらい前だったでしょうか、近隣4市の合併が計画されましたが実現せず「新座」という名が残ったのは喜ばしいことでした。所用の大部分の行く先が東京都心の私ですが、出かける時に利用する西武池袋線の保谷駅は西東京市（面積15・85平方km、人口約20万7千人）にあり、「西東京市」という名は保谷市と田無市が合併した際に出現したものであり、上記埼玉南部の四市合併も行われたとしたら、現在私は「南さいたま市」の住民になっていたということでもあります。



2019年8月初顔合わせの翌日、高波さんのそば畑で  
(右から高橋元村長、佐々木真さん、高波さん)

新座市に話を戻します。武蔵野の一角にありベッドタウンとして首都圏の一角をなしている地域であつて、空を見上げると関東一円の航空の安全に寄与する大きな管制アンテナがある野原があつたり、にんじん畑が散見されるような田園風景がひろがっています。古代遺跡なども発見されていて、それらの情報は市のホームページ上、平林寺などの文化施設の情報と共に「生涯学習・スポー

ツ課」あるいは「施政情報・観光」をたどると見つかります。文化遺産などが学習の対象として分類されているのは納得の範囲ですが、コンサートなどを催す施設（立派なコンサートホールが大・中二つもあります）も「生涯学習・スポーツ課」の管轄ということに私は違和感を持っています。実は私は「東京交響楽団」に定年退団まで所属しその後も演奏活動を続けており、新座市の会場に

てコンサートを催すこともあるのですが、いつも「音楽はスポーツではないんだけど」と思いつつ、音楽教室の講師を仰せつかったりするような気分になってしま

います。  
たしかに、我が国は鎖国を解いてからの明治期は西洋に追いつき追い越せと西欧の文明文化を学ばなければなりません。スポーツや芸術文化は学習課題として認識されてきた歴史があり、現在も将来も統

く傾向にあります。スポーツがルールのもと敵味方に分かれて勝ち負けを競い合いましたその観戦を楽しむ一方、芸術文化においては各人の個性の表現を楽しみます。芸術表現は根源的に自由です。観賞

する多くの方々がその表現にある一定の規範を認めるとき、その規範が文化として認識されるのではないかと思っております。その認識が定着するには一定の時間が必要となります。しょう。

新座市のホームページのサイトマップでは、「子育て・教育」生涯学習・スポーツ「生涯学習」社会教育に関する計画「新座市文化芸術振興基本方針」となっており、5ページにもわたる「基本方針」に「楽しい」とか「楽しむ」とかの語がひとつもないことは私にとっては不思議なことです。1000名近くの市職員の中にクラシック音楽が好きな方

栄村コンサートのピアニスト 紺谷志野さん



栄村コンサートのきっかけとなった「宇治教会の春」コンサート(2019年4月)で佐々木先生のフルートとピアノで合奏。宇治市在住。

や時に応じて楽しんでいる方もおられるとは思いますが…。芸術文化のひとつであり世界中に拡がっているいわゆる「クラシック音楽」は元はといえばそれほど広くはないヨーロッパ地域での楽しみのひとつでした。2000年あるいは3000年かかってここ東洋の一角でも楽しめるようになっております。このようなグローバルな楽しみを新座市民にも味わってほしいと常々思います。グローバルな文化とともに、その地その地の風や光、味覚というローカルな文化、さらには日常の文化、非日常の文化などバラエティの豊かさに包まれるとき、生きている喜びをかみしめている自分があります。



# 栄村 大好きです

「みゆずメソン」代表 佐々木康子



真中の女性が佐々木康子さん（2019年8月高波さんの蕎麦畑で）

体温がつつたわる作品の数々。

吉楽旅館でお会いした方々の ゆったりさ たのしさ。

吉楽旅館のお食事の まさに手造りの しみいつてくるおいしさ。

高波敏日子さんがみせてくださった 蕎麦畑。

信濃川の雄大な眺め。

栄村に入る前に まよいこんでしまった秋山郷の気配。

私は大阪生まれ。

学生生活は京都、その後は東京との県境・埼玉にてすごしてきました。にぎやかでなんでもあるという場所です。

とても便利で、いくなれば退屈する間もないところです。

そこで日々いろいろ活動をしている訳ですが、栄村を訪れてみて栄村が なんともかえがたい場所に おもえました。

「無限の宝庫をいだきつつ 我ら相より村をなし

人直くしてなごやかに 永遠に栄えむわが栄村」(栄村歌)

お会い出来た 元村長さんの高橋彦芳さんのお話の一片から

栄村は 知恵 信頼 自立の精神が生み出した

何にもかえがたい場所だと わかりました。

栄村を知ったことに 感謝しています。

また 伺いたいです。

永遠に栄えてほしい ところです。

栄村 大好きです。

京都でのコンサートで出会った中筋恵子さんがつくって下さったご縁。

森宮野原駅は無人駅。日本最高積雪地点。

吉楽旅館は駅から徒歩3分。

吉楽旅館から あったかい雰囲気役場まで徒歩4分。

駅には交流館があつて 皆様それぞれ ご挨拶を交わしている。

駅の傍に震災復興祈念館。絵手紙美術館。